

1. 町立病院の夜間、休日の循環器の診療について

提言の内容	<p>先生の診療をお願い致します。 3病院の内の1病院だけでもお願いいたします。</p>
回答	<p>この度は、町立病院へのご提言ありがとうございます。 現在、町立病院において循環器内科の医師は、東和病院に2名、大島病院に1名在職しております。この3名の医師で夜間・休日の勤務をまかなうことは大変難しい状況です。 なお、町立3病院では、365日、夜間・休日において当直医により急病の方の診療を行っておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。 (回答:病院事業局)</p>

2. 大島大橋損傷に伴う大口寄付金の使途と公開について

提言の内容	<p>先週末の2019年7月12日、大島大橋の通行規制が全面解除となり、完全復旧の運びとなりました。関係者の皆様方のご尽力に改めて感謝する次第です。 今回の人災事故により約40日間にわたって断水が発生したため、多くの大島町民が大変な苦労を強いられました。損害賠償されずに泣き寝入りになりそうな状況にあります。 そこで周防大島町として想定外の臨時収入となった、大口寄付金(2019年2月以降)については全町民がその恩恵をうけるような施策を講じて頂きたいと思っております。 個人的には2019年1月に実施を決定した大島町民対象の[周防大島活カクーポン券]の第2弾がいいのではないかと考えますが公平性が担保できる施策であれば、それでいいと思っております。 ご検討いただければ幸いです。</p>
回答	<p>このたびは、大島大橋損傷に伴う寄付金の使途等について貴重なご提言を賜り厚くお礼申し上げます。 また、大橋の損傷により交通規制や、送水管の破断により大規模断水となり、大変ご迷惑をお掛けいたしました。 さて、ご提言いただきました大島大橋損傷に伴う寄付金の使途と公開につきましては、現在、寄付金の使途について協議を重ねているところでございます。 ご提言にございますように、寄付金の使途については、町民の方々に恩恵があることを基本とし、県内外から多額のご寄付をいただいた方々の思いをくんだ施策を実施したいと考えております。 また、寄付金の使途が決まりましたら、何らかの方法で周知していきたいと思っておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。 (回答:総務課)</p>

3. 周防大島ガイドマップについて

提言の内容	<p>周防大島町にある店舗等の所在地名がわかりにくい。 周防大島町発行の「周防大島 GUIDE MAP」に掲載されている食事処などの所在地表記が大字(オオアザex.西方)と小字(コアザex.下田)が混在していてわかりにくく誤解しやすい。小字名を誤っているものもある。 ex. ? 道の駅は名物料理ページでは下田, スポーツ・レジャーページでは西方と表記。? 名物料理ページ東和地域の海鮮料理ふみやや西方、瀬戸内壮やまもと下田と表記されているが、ふみやとやまもと別館は隣接では? ? かわい寿司とお食事処 慶は下田となっているが小字で表記するのであれば長崎が正しいのでは? 折角のPR用リーフレットであるから、それぞれの店の判断でなく、観光客がみてわかりやすい表記という観点から、町がもっと積極的に指導すべきではないか。個人的には、小字表記で統一するのが良いのではないかと思います。 ちなみに、電話帳(iタウンページ)では下田郵便局は山口県大島郡周防大島町大字西方下田276と記載されている。</p>
回答	<p>この度は貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。 ガイドマップを確認しましたところ、ご指摘のとおり店舗等の所在地の表記に大字と小字が混在しており、観光客の方にとってはわかりにくい表記になっておりました。 ご指摘いただいた点を含め、今一度内容の確認を行い、修正をして参りたいと存じます。 今後ともよろしくお願いいたします。 (回答:商工観光課)</p>

4. 広報の掲載について(人の動き、交通事故発生状況)

提言の内容	<p>「すおう大島」広報の「人の動き」「交通事故発生状況」のデータが掲載されていますが、当月の数字だけでは推移がよく分りません。 「ひとの動き」の増減は対前月比、「交通事故」については前年比が出ていますが、前月対比の数字表示だけでは動きがよく分りません。 「人の動き」は過去2年間程度の年間平均と6ヶ月間をグラフで表し、当月はそのデータの上に数値を入れるなど工夫してもらえると、どのような人の動きが一目で分ると思います、交通事故発生状況のデータも同様にして欲しいと思います。 紙面の都合もあるかと思いますが、工夫すれば可能と思います。検討ください。</p>
回答	<p>この度はご提言をいただき誠にありがとうございました。 「人の動き」や「交通事故発生状況」については、現状をお伝えする観点から掲載しており、統計的な内容を掲載することを考えておりませんでした。 ご提言いただいた内容については、毎月統計グラフを掲載する必要性を含め検討及び今後の広報紙の作成に活かして参りたいと考えております。 今後ともよろしくお願い申し上げます。 (回答:政策企画課)</p>
提言者からの返信	<p>回答ありがとうございました。 周防大島町の人の動き推移が、この近年どうなっているか、今後どうなるのだろうか、大島町が取り組んでいる転入、出生の拡大が順調に進んでいるのかなどが分るとよいと思いました。 人口が今月33人減ったのなら来月は15,000人代になるが今後、このまま進めばどうなるのだろうか…などつつやきが聞こえてきます。 ネットで調べれば分るのかと思いますが、多くの住民が現状認識する必要があるように思います。 新聞記事の中に多くの推移を表すグラフが出ているので、広報も見習ったらよいと思います。</p>

5. 広報の掲載について(地域づくり活動支援事業)

<p>提言の内容</p>	<p>「すおう大島」広報8月号、3ページに掲載の「地域づくり活動支援事業の補助金交付団体決定」について、5団体の団体名と事業名が表示されていますが、この事業に関心を持ってこの補助金を受けようとする団体が多いのか、少ないのか、申請団体がどの程度あったのかが不明です。「地域づくり活動」に取り組もうとする団体が多ければ多いほど、頑張って活動しようとする団体が多く、住民が一生懸命やろうとしていることが、町民に分ると思います。もし5団体だけしかないのであれば、さびしい限りです。</p> <p>又、補助金の交付上限額の表示がありますが、各団体に交付額された補助金額が不明です。個別補助金の公表は難しいのかと思いますが、公表しても不都合はないと思います。もし不都合であれば総額の補助金額を出してもよいかと思いますが(各団体にどの程度の補助金が出ているか分る)、どの程度の事業申請団体があって、町がどの程度の活動支援補助金を交付しているかを、多くの方に知ってもえば、この事業を有効活用して地域づくりをする団体を支援することの大切さがよく分かり、関心が高まるのではないのでしょうか。</p> <p>申請団体数と補助金額(個別表示がよいと思うが、無理なら総額)を資料内に入れて欲しい。</p>
<p>回答</p>	<p>ご提言ありがとうございます。</p> <p>地域づくり活動支援事業の公表については、採択された団体名及び事業について広報にて町民の皆様にも周知するという観点から、申請団体数及び補助金額についての公表は考えておりませんでした。</p> <p>この度、〇〇様からいただきましたご提言を来年度の事業の公表に際し検討させていただきたいと考えております。</p> <p>なお、本年度についての申請件数は6団体で、内訳はスタートアップ1団体(採択1団体)、ステップアップ5団体(採択4団体)、補助金の総額は1,900千円でした。</p> <p>ご提言いただきありがとうございました。</p> <p>(回答:政策企画課)</p>
<p>提言者からの返信</p>	<p>回答ありがとうございました。</p> <p>ネットで大島町の過去の地域づくり支援事業について掲載されている内容を見ますと、平成23年度には審査会会長が審査結果報告書を出し、掲載されています。当年は7団体が交付されており、審査会での意見、提案などが書類で報告されています(その年以外は不明)。報告内容の中で提案事項として次年度は申請額を3段階程度(50、25、10万)に分けてはどうかとあります。</p> <p>上限金額は設定されていますが、当年の予算事情、申請内容などから申請額の上限を全額支援するのではなく、予算額に対応して申請団体に均等割する、又は審査委員会で申請予算額を減額して申請全団体に配分するなどの考慮が必要だと思います、せつかくやる気で申請したのに支援を得られない団体があると気の毒に思います。</p> <p>一般的にどこの助成金でも申請された上限額まで交付されることはなく、たいていは、減額されて出来るだけ多くの申請団体に配分されると聞いています。</p> <p>一般的に50万程度の上限であれば申請団体は上限額を目指した計画を立てるのが常です。従って、たとえ減額されても、その金額で出来ないことはあっても、出来るように努力し、出来ると思います。ただ申請しても交付金ゼロはやろうとした活動が否定され、計画した活動が何も出来ないこととなります。</p> <p>H23年度の提案事項にありますように申請額満額を評価上位順位団体から満額交付するのではなく減額し、申請団体全体に支援できるように検討してください。</p>

6. イノシシ対策／サタフラの拡大・拡張／サイクリストの島への流入拡大について

提言の内容

【イノシシ対策】

○10年前の提言不妊饅頭政策の再見直し

電気柵、超音波、檻、罠よりは効果的。これらは問題点が指摘されている。一方不妊饅頭は食べさえしてくれれば、その牝のイノシシの代で途絶える。つまり絶対数を減らすことができる。イノシシの平均寿命10年。雨による流出でその毒性が心配されるが、農薬会社、製薬会社の新薬研究で問題は軽減可能。

現在取られているいずれの策も一時しのぎにすぎない。つまり追っ払う、捕獲の類の対策、それに対して不妊饅頭はイノシシを山の奥で生存させる昔に戻す根本的な対策である。

・野菜。果樹づくりを生きがいにしている老人はイノシシが怖くて、家に閉じこもっており、生計のみでなく、健康被害までおよぼしつつある。

・全国のイノシシ被害に遭っている町・村との連携を図り、強化する。

・こうした運動を通じて農水省にイノシシ対策を重要政策の一つとして位置づけさせる。

【サタ・フラの拡大・拡張】

○現在の7・8月から5・10月まで拡張する。

7・8月の催しは今迄どおり。新規の5・6月、9・10月は踊る場所を絞り、参加者も近辺の大島、周南、岩国どまりとし、参加者の交通費の負担軽減を図る。また参加者の踊り子も精鋭ではなく、新人或いは小学生など准踊り子の経験もしくはデビューの場とさせ、彼らの更なるフラへの意欲を高める機会を提供する。

【サイクリストの島への流入拡大】

・台湾一周1週間サイクリングを学び、しまなみ海道に次ぐサイクリストのメッカに育てる。台湾では国内の利用者だけでなく、世界各地のサイクリストを呼び込んでい。そこには大きなノウハウがある。それを習得し、実施するのである。

・町の商工観光課と観光協会は連携し、台湾を学ぶ。そのために自転車屋を連れて台湾への出張も必要不可欠だろう。

・サイクリストは夏場より春・秋・冬がシーズンである。

○提言2サタ・フラの拡大と提言3サイクリストの流入拡大のふたつのプロジェクトと従来の島の観光資源の活用で年間20万人以上の観光客の純増が期待しうる。

提言その1(イノシシ対策)

このたびはイノシシ対策への提言をいただきありがとうございます。

本町の昨年度の捕獲数は2,252頭と過去最多となっており、みかん等農作物の被害も増加傾向にあり苦慮しているところです。

さてご提言いただきました不妊餵養政策の再見直しの件について、毒エサの使用は、鳥獣保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第三十六条の危険猟法にあたり、禁止されています。

町といたしましては、今後も防護柵設置の啓発やイノシシの捕獲を地道に推し進めていくことを考えております。

町・村との連携に関しては、本町は下松市以東の5市5町で構成されている山口県東部鳥獣被害広域対策協議会の会員となっており、連携を図りながら、広域一斉捕獲、被害防止対策等に取り組んでいます。また、イノシシ対策の先進地である長崎県佐世保市、佐賀県唐津市、香川県小豆島町及び広島県呉市等へ研修視察し、各市町での取り組み(捕獲に関する猟友会との連携強化、防護柵設置の推進やイノシシ肉の利活用等)を本町の鳥獣被害対策に活かしているところです。

国としては農林水産業をめぐる鳥獣被害が深刻化し、被害金額が増大しており、このことが営農意欲を減退させ、耕作放棄地の拡大等計り知れない悪影響が懸念されることから、平成19年に「鳥獣による農林水産業等に係る被害防止のための特別措置に関する法律」を制定し、さらに平成24年に狩猟人口の減少・高齢化や捕獲鳥獣の消費拡大を踏まえた、上記法律の一部改正を行っています。このことから、農林省(国)もイノシシ対策を重要施策の一つとして位置づけられていると考えられ、本町としてもイノシシ対策は、重要な施策の一つと考えております。

(回答:農林課)

提言その2(サタ・フラの拡大・拡張)

貴重な提言をいただきありがとうございます。

現在、「サタ・フラ」は7月～8月末まで実施をして、その期間以外には島内外でフラダンスのイベントを多数行っています。「サタ・フラ」も今年で12回目を迎えました。回を重ねる毎に参加団体も増え、今年には140組の参加団体が有り、周防大島町を代表する観光行事になっております。

これからは、ご提言をいただきましたデビューの場を設ける等の企画を検討していき、「サタ・フラ」の一層の拡充に努めて参ります。

提言その3(サイクリストの島への流入拡大)

周防大島観光協会を中心に山口県や周防大島町でつくる周防大島サイクルアイランド推進協議会を平成30年6月に設立し、春秋にサイクルイベント等を行うと共に、サイクルエイド、サイクルステーションを拡充し、サイクリストの誘客に努めています。

また現在、しまなみ海道をはじめ、松山、周防大島、岩国、広島を周遊する約300kmのモデルコースを自転車で周遊する「瀬戸内ロングライド構想」の実現を目指しております。これにより、宿泊等の相乗効果を期待しています。

(回答:商工観光課)

7. 防災行政無線の放送内容の町ホームページへの掲載について

提 言 の 内 容	<p>朝昼夕と有線放送で様々な情報をお伝えいただき、日々感謝しております。 さて、この有線放送の内容について町のウェブサイトを確認したところ、「お知らせ」及び「トピックス」ほか、どこにもその記載がありませんでした。(どちらかにありましたら大変申し訳ありません) 放送毎に聞こえる範囲にいる、ということが難しく、得られる情報に欠落が発生しております。また、放送された内容の確認をしたい事柄もあります。 読み上げ原稿等を転載する形でも構いませんので、放送内容をウェブサイト上の「お知らせ」などに記載することはできませんでしょうか？ お忙しいなか恐れ入りますが、ご対応のほど宜しくお願いいたします。</p>
回 答	<p>防災行政無線の放送に対するご提言ありがとうございます。 町からのお知らせについて、防災行政無線の戸別受信機を通じて放送しておりますが、ご提言のとおり放送原稿を町ホームページには掲載しておりません。放送を聞き逃した場合や放送内容の確認をする場合には、戸別受信機の録音再生機能をご利用願います。戸別受信機の再生ボタンを押していただくことで過去4回までの放送を古い順に再生して聞くことができます。 また、電話により放送内容を聞くことができる専用電話(0820-79-0898)も開設しております。お住まいの地域以外の情報やJA放送も録音されていますがこちらでもご利用いただけます。 災害時や避難情報等緊急放送の場合は、町ホームページや防災メールでもお伝えしております。日常行事のお知らせ等は、放送地区の違いもあり件数も多いためその都度ホームページに掲載することは難しいところがありますが、ご提言いただいた内容を踏まえ、ホームページの充実も考えていきたいと思っております。 (回答:政策企画課)</p>

8. 公益財団法人日本水泳連盟認定OWS大会の開催の提案について

<p>提 言 の 内 容</p>	<p>OWS(オープンウォータースイミング)は水泳競技の一つで、屋外の自然の中で水泳をする競技です。国体は岩手、オリンピックは北京から正式種目になりました。歴史が浅いのであまり認知度はありませんが、徐々に競技人口は増えています。日本では日本水泳連盟が認定するサーキットシリーズの大会がメジャーなところで、今年も全国16カ所で開催(他1カ所は台風で中止)されました。</p> <p>近隣では岡山せとうち、鹿児島あくね、鳥取中海で開催されています。ところが、広島〜九州北部は空白地帯となっており、条件の揃った大会ならば難なく新規に認定されるものと考えています。周防大島町には整備されたみごとな海水浴場が複数あり、大会会場としての条件は既に整っていると思います。また、認定OWS大会を開催するには自治体が主催または主催に関わっている必要があるため、今回このような提案をさせて頂きました。是非とも開催をご検討下さるようお願い申し上げます。</p> <p>私も今年はその内の5大会(鹿児島あくね、屋久島、びわ湖、岡山せとうち、高知すさき)に参加して、その土地土地の自然と人にふれあいながら競技を楽しみました。また、OWS指導員資格を取得したこともありOWSの魅力をも県内にも紹介したいと思っています。まず私の地元の下関市でも思いましたが、外海が多いので海象の不安定さがあります。他に県内で良さそうな所を探していたら貴町の海水浴場は好条件だと思いました。というのも、私が今年参加した4カ所(あくね、びわ湖、せとうち、すさき)よりも水質や駐車場等の付属設備が抜群に良いと思います。認定大会に加わればロケーション的に人気の大会になる気がします。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場が海に限定されるのでコンパクトな運営が可能 ・人気の大会になると参加者数百人と家族の来島が期待される ・サーキットシリーズを渡り歩く参加者が、全国各地からのやって来る ・各大会の総合3位以内には日本選手権出場の権利が付与されるので全国からトップレベルの選手が来る ・水泳連盟から強化指定選手(日本代表選手クラス)が合宿の目的で招待・派遣されて来る ・トライアスロンと違って、基本的に泳げる人が参加するので、事故のリスクは低い課題は以下の通りくらいですが、依頼すれば解決できます ・競技役員に公認OWS審判員が必要だが、県内には不在なので他県から呼ぶ ・競技役員に日水連の安全担当員を呼ぶ必要がある認定大会にする前に、まずは小規模な大会や練習会などの開催をご検討いただければと思います。よろしくお願い致します。
<p>回 答</p>	<p>ご提言ありがとうございます。</p> <p>本町では毎年8月下旬に「大島郡水泳大会」を三浦B&G海洋センタープールで開催しております。また、夏季・冬季には子供たちを対象とした水泳教室を開催し、小・中・高校生、一般の方々の記録向上と心身の鍛錬を目指しております。</p> <p>さて、ご提案をいただきましたOWSについてですが、本町も全国の例にもれず、人口減少のため国からの交付金の減少の影響などから、既存大会の予算額も減らざるを得ない状況にあり、現状では新規大会の創設は困難な状況にあります。</p> <p>また、小規模の大会を開催するにも、運営スタッフの確保、会場周辺駐車場など、解決すべき課題がございます。</p> <p>立地条件から本町の海水浴場は瀬戸内快水浴場百選にも選ばれておりますが、自然豊かということは交通手段が車しかないということにもつながっております。つまり何の大会、イベントを行うにしても駐車場の確保は必須条件となります。</p> <p>OWSの開催となれば7、8月の海水浴シーズンとなるかと思えます。海水浴客+大会参加者で賑わいの演出、集客効果は確かにあると思いますが、駐車場の確保となるとかなりの困難を伴うと思われます。以前は片添ヶ浜海水浴場で行ってありますビーチバレー大会の際に、臨時駐車場から会場までシャトルバスを出していたこともございました。最近では参加者も平成初頭より減少していますのでそこまでの用意はしておりませんが、いざイベントを行うとなればそのような準備、予算の確保はしておく必要はございます。</p> <p>以上の理由から、現状では本町でOWSの大会、イベントを開催するのは困難と考えております。</p> <p>ご理解のほど、なにとぞよろしくお願い致します。</p> <p>(回答:社会教育課)</p>
<p>提 言 者 か ら の 返 信</p>	<p>大変ご丁寧な返信をいただき、ありがとうございます。</p> <p>ご事情が良くわかりました。</p> <p>その中でも水泳大会や水泳教室を開催されているとの事で頭が下がります。</p> <p>関連して、OWS検定というのが練習会のついでにでも開催可能ですので、もし、ご要望があればお知らせ下さい。</p>

9. 防長バスの便数について

提 言 の 内 容	防長バスの時刻表が大幅に変更されて減便となり困っています。採算などを考慮すれば限界かもしれませんがなんとかならないものかと案じるのみです。3月14日に変更される前の時刻表PDF(大島～油宇)ありましたら送付していただけないでしょうか。どの程度減便になったのかを確認してみたく思います。どうかよろしくお願いいたします。
回 答	お問い合わせいただき誠にありがとうございます。 別添のとおり、防長バスの改正前時刻表をお送りしますので、ご確認ください。 よろしくお願いいたします。 (回答:商工観光課)